

瀬戸内市地域自立支援協議会

令和元年度 第3回 就労支援部会 議事録

日時：令和2年2月7日(金)10時～12時

場所：地域生活支援センタースマイル1階大会議室

開会挨拶：齋藤(部会長) 議事進行：笠原(副部会長)

議題 ～令和元年度 目標達成のための具体的な取り組みについて～

【連絡事項他】

・ハートスイッチ 東岡山校から就労移行支援事業所の紹介。

1. 福祉サービス事業所の質の向上

- ・就労への職業評価、マッチングと利用者の就労意欲の向上について事業所共通の評価表を作成中。
- ・職員のスキルアップと人材育成についてトータルサポートセンターと権利擁護センターほっと♡せとうちで開催された研修会について報告。トータルサポートセンターが今後事業所訪問を予定。
- ・事業所の質の向上のため、来年度に向け利用満足度調査表作成を検討中。

2. 障がい者の就労意欲向上と就労定着 —他機関、他職種間の役割・連携・情報交換—

- ・瀬戸内市生活相談支援センターから相談状況・支援体制・取り組み等の報告。
- ・瀬戸内市権利擁護センターほっと♡せとうちから相談状況、障害者虐待の現状、事例検討会の報告。
- ・瀬戸内市在住の生徒を中心に特別支援学校卒業後の進路状況、アフターフォロー、生徒状況等について報告。
- ・ハローワーク西大寺、ジョブスポットせとうちから相談の状況・関係機関との連携、障害者雇用等について報告。
- ・岡山障害者就業・生活支援センターから相談状況と就職後のアフターフォロー、職場定着への取り組み等について報告。
- ・岡山障害者職業センターから現状と取り組み等について報告。

3. 地域づくり・資源開発

- ・黒井山こころのアート展(9月27日～10月6日)について事務局と各事業所から報告。
パネル展示、物品販売、折り紙アートについて次年度に向け振り返りを行った。
- ・「福祉課と相談支援事業所との連絡会」から報告。
現在市内に3事業所あり、相談支援専門員10名で計画相談を受けているため、待機者がいる状態。地域課題の共有や計画相談の質の向上、セルフプランの検証を図っている。
- ・瀬戸内市における障害者優先調達推進法の促進について事務局から報告。
各事業所の状況や行政の求めるものの確認。セルフセンターと話し合いを重ね協議中。
邑久高等学校へ訪問し、来年度以降の仕事について打診。草刈り以外にも障害の方との協同事業について提案。
来年度新たに商業系の学科が出来る。5月のイベントへの参画を打診している。
- ・瀬戸内市地域自立支援協議会交流イベントについて関係事業所から報告。
利用者同士が交流、放課後デイサービスの児童も参加。各事業者、市、セルフセンター等が物販で参加。
- ・瀬戸内市障がい者ワークフェアについて報告。
利用者の交流はできたが、一般の方の参加が少なかった。開催時期にインフルエンザが流行し直前に支援学校が学校閉鎖と重なった。来年度は8月の開催を目指す。
- ・瀬戸内市民図書館もみわカフェの運営について事務局及び関係事業所から報告。
地域の交流の場として物販品の工夫をし継続していく。
- ・「防災ワーキング」から防災研修会の報告とチラシ(案)の紹介。
他県他市の状況を見ながら当事者・支援者版を作成。

4. その他

- ・岡山県就労継続支援A型事業所協議会の報告。研修会年3回開催。厚生労働省の取り組み(30年度報酬改定事業所生産活動と収支について)を瀬戸内工房・ほほえみわあくから報告。

5. 令和元年度の振り返りと令和2年度の目標設定について

- ・部会年間計画(案)について意見交換。

閉会挨拶：金(副部会長)